

入院のご案内

HOSPITALIZATION GUIDE



様ならびにご家族の皆さま

入院予定日時は

年 月 日 : です。

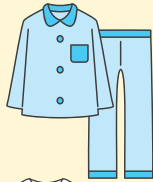
本案内をご熟読の上、入院のご準備をお願いいたします。

入院にあたって



1.入院時に必要なもの

◆ ねまき

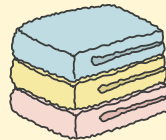


◆ 下着類



◆ タオル

- ・フェイスタオル
- ・バスタオル



◆ お薬

- ・服用中のお薬
- ・お薬手帳



◆ はきもの

- ・靴タイプのもの
- スリッパは転倒の原因になるため不可



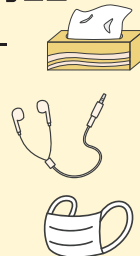
◆ 洗面・入浴用具

- ・歯ブラシ
- ・義歯入れ
- ・ひげそり等
- ・シャンプー
- ・石鹸



◆ その他日用品

- ・ティッシュペーパー
- ・テレビ用イヤホン
- ・マスク
- ・洗濯用洗剤
(ご自身で洗濯される方)



※院内には売店がございませんので必要なものは入院時にあらかじめご準備をお願い致します。

※持ち物には必ず名前をお書きください。

※多額の現金や貴重品はお持ちにならないでください。

※紹介状、前回の退院証明書（あればご持参ください）

～CS セットをご利用の患者さま・ご家族へ～

CS セット・おむつプランはご本人さまやご家族より中止の申し出がない限り継続となります。
プランを中止する際は速やかにスタッフに申し出をお願い致します。

2.入院当日の手続き

(1) 時間までに 1 階中央受付までお越しください。

(2) 当日中央受付で提出するもの

☐ 診察券

☐ マイナンバーカード(マイナ保険証)

注) マイナンバーカード(マイナ保険証)等を提出されない場合、診療費は全額自己負担となります。

マイナンバーカード(マイナ保険証)の提出が遅れる場合には必ずご連絡ください。

☐ 各種医療証

(特定疾患・原爆医療・障害者医療・減額認定証等の証書)

☐ 介護保険被保険者証

(3) 病棟に提出するもの

☐ 入院申込書・誓約書等

ご入院される患者さま・ご家族へのお願い

他のかかりつけ医療機関(クリニック・病院)がある方で、当院入院中に他医療機関へ受診、または、お薬を処方してもらう場合(ご家族がお薬を処方してもらう場合も含む)は、事前に当院の病棟事務員・中央受付へご連絡をお願い致します。

- (1) 入院中のお薬は原則当院で処方します。
- (2) 入院中の患者さまで他の医療機関を受診する場合、当院会計から受診先の医療機関の会計へ文書をお渡しします。その文書により(これまで通り受診医療機関でお支払いをしていただく、又はお会計が無い)支払い方法の決定を致します。

関係機関との情報共有について

患者さまの情報(氏名・住所・生年月日・保険番号・病状・家族連絡先等)を診療のために利用する他、行政や他の医療・介護・福祉施設・施設紹介業者との連携等のために利用することがあります。情報共有に同意できない場合、ご不明な点がございましたら各階病棟スタッフもしくは中央受付へお申し出ください。

入院生活における注意事項

- (1) 入院中の患者さまのお車の駐車はご遠慮ください。
- (2) 以下の場所では携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモード設定をお願い致します。
(・放射線撮影室・手術室・内視鏡室・化学療法室)
- (3) 当院は**敷地内全面禁煙**となっております。喫煙はご遠慮ください。
- (4) 当院は急性期病床、障害者施設等一般病床、地域包括ケア病床、回復期リハビリテーション病床と、それぞれの特性のある病床を併設した病院です。患者さまには病態に応じた適切な医療が提供できるよう転床、転室をお願いすることがありますのでご了承ください。
- (5) 入院時に持参された現金は、金額に関わらずお預かり出来ません。ご自身での管理をお願い致します。(病院では責任を負いかねますので、ご了承ください)
- (6) 患者さま又は面会の方が、備品を破損・紛失された場合、実費のご負担をお願いする事があります。
- (7) **他の患者さまや病院職員への恫喝、暴力行為を禁止いたします。**
悪質なケースについては警察へ相談させていただきます。
- (8) 患者さまの義務等守られない場合は、強制退院になる場合があります。
- (9) ご相談は、1階患者さまサポート相談窓口へお願い致します。

患者サポート
相談窓口詳細



安全で快適な入院生活を過ごしていただくために

患者さま及びご家族の方へ

当院では患者さまの身体的能力の回復を図るため、積極的な治療、リハビリテーション、看護等を行っております。

また、入院生活を過ごす病院の環境は現在までの住み慣れた家庭環境とは大きく異なります。

特にご高齢の患者さま、あるいは認知症状(痴呆症状)、麻痺、基礎疾患(高血圧、糖尿病、脳血管障害、心肺・腎機能低下など)をお持ちの患者さまには常に下記の危険性が存在します。

「元来の認知症(痴呆症)の進展、新規な認知症状(痴呆症状)の出現」

「転倒・転落による打撲、挫創、骨折、脳傷害」

「誤嚥などによる急性の気道閉塞及びその後の肺炎、脳傷害」

「無断外出による所在の不明」

「突然の心肺機能不全」

「突然の出血(傾向)」

「微弱な力や擦れによる皮膚の剥離(特にご高齢の方・透析を受けられている方)」など

スタッフ一同(医師、看護師、看護助手他)は最新の医療・看護知識を継続的に習得し技能向上を図ること、さらには個々の患者さまの危険度を把握し、その情報の共有化を図ることなどによって、上記事象の発生回避に最大限の努力を払っております。

しかしながら完全には危険性を排除し得ないことをご理解賜りたく存じます。

当院において事象発生の予防と事象発生時について、下記の対応をご理解願います。

- ☐ 転倒、転落の危険性を把握するために質問をさせて頂き、その評価を踏まえて患者さまとともに予防に取り組んでいます。大変危険な場合は、様々な介護器具を使用させて頂くこともございます。
- ☐ 事象発生時は直ちに対応・治療を開始いたします。(但し、緊急検査及び高次医療、専門医の診断が必要な場合などに転院をお願いする場合がございます。)
- ☐ 救命処置の緊急性が高いと判断する場合は、ご家族に相談する時間が作れずに救急救命担当病院へ搬送する事もございます。
- ☐ 主治医が院内に不在(勤務時間外、学会、職務の都合等)の場合がございます。その際には当番の代医(常勤・非常勤)が診療に当たり、極力携帯電話などで主治医と連携を図りながら診療を行います。
- ☐ 無断外泊による所在不明の場合は緊急を要しますので、ご家族及び警察に連絡し発見に全力を尽くします

以上、ご理解とご了承をお願いいたします。

医療安全について



1. お名前はフルネームでお答えください。

同姓の患者さま・同名の患者さまがいらっしゃる場合があります。間違いがないように名字と名前をフルネームでお呼びいたします。フルネームでお名前をお答えください。

2. 生活環境の変化にご注意ください。

- (1) 入院により、今までの生活環境や習慣が大きく変わります。ベッドでの生活、お手洗いの場所の違い、またご自身のお体の変化などに特に注意してください。
- (2) 検査などでベッドで休む時間が長いと体を動かしたとき、ふらふらする場合があります。思った通りに体が動かずに、何らかの衝撃でケガをする危険性がありますのでご注意ください。

3. 転倒予防のためにご注意ください。院内での転倒予防のために

- (1) **スリッパやサンダルは止めましょう**
スリッパやサンダルは脱げやすく、思わぬ所でつまづいたりしやすいので、ちゃんとした靴を履きましょう。普段からはき慣れた足にあったもので靴タイプが安全です。
- (2) **ベッドからの起き上がり、夜のトイレは足元に注意しましょう**
ベッドから起き上がる時、特に夜間にトイレに行くときには足元に十分注意しましょう。枕元の明かりをつけて移動しましょう。
- (3) **オーバーテーブルに注意しましょう**
キャスター(車輪)が付いています。力を加えるとスーッと動きますので使用しない時は壁につけておきましょう。
- (4) **床は濡れていないか、段差はないか確認して歩きましょう**
床が濡れていますと滑りやすく危険です。配膳車の周囲やトイレ、洗面所など水回りでは特に注意しましょう。
- (5) **手すりや杖を利用しましょう**
廊下や階段は手すりを持って移動しましょう。大丈夫と思っていても、入院中に体力は落ちています。
- (6) **足元がふらつく作用がある薬を飲んでいませんか**
眠れないときの薬を飲むと、体に力が入らないことがあります。薬は寝る支度をすませてから飲みましょう。また、眠れないからといって勝手に量を増やすことは止めましょう。
- (7) **不安な時は、主治医、看護師に遠慮なく相談しましょう**

4. 血管に針を刺す処置を受けられる方へ

採血・点滴・静脈注射・輸血などの際に、針が皮下の細い神経にあたる場合があります。その場合、通常より強い痛みが起こり、しびれ感や痛みが続くことがあります。その際はすぐにお知らせください。ほとんどの場合は数日から数週間後で後遺症はなく治りますが、極めてまれに症状が長引き、手の運動に障害が残ることもあります。現代の医学ではこのような症状を完全に防ぐことができません。このようなケースがまれに起こりうることを、あらかじめご了承ください。発生した場合は最善の処置を行います。

5. 盗難にあわないために

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 貴重品・多額の金銭は置かないようにしましょう<ul style="list-style-type: none">・床頭台には鍵をかけて使いましょう。・小銭はポシェットを用意して常に身につけておきましょう。・キャッシュカードの持込みは最低限にしましょう。・免許証は持ってこないようにしましょう。(2) 盗難のおきやすい場所<ul style="list-style-type: none">・床頭台の中・戸棚の中・ズボン、ジャンパー等のポケット | <ol style="list-style-type: none">(3) 盗難の起こりやすい時<ul style="list-style-type: none">・トイレ、入浴、診察、手術などで病室を留守にした時・面会などで病室を留守にした時・入院翌日、入院料金支払日など(4) トイレ、公衆電話場所、風呂場に置き忘れないように注意しましょう(5) 盗難に気づいたら<ul style="list-style-type: none">・職員にすぐに知らせてください。 |
|---|---|

入院費用・退院について



入院費用は、保険適用に「なるもの」と「ならないもの」とがあります。

1.入院診療料

- (1) 健康保険法で規定された一部負担金を負担していただきます。
 - (2) 自費の方は、診療報酬点数表に準拠します。
 - (3) 食事についての標準負担額
 - ・1食につき510円です。
 - ・市町村から発行される減額認定証をご提示の方は、食事負担額が減額されます。
- ※詳しくは入院係へお尋ねください。

2.個室について

- (1) 個室をご希望の方は、入院予約時にお申し出ください。
入院後は、病棟師長へお申し出ください。
空室の状況によりご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。
- (2) 室料(1日7,000円＋消費税)3～5F：シャワー、トイレ付
(1日5,000円＋消費税)6F：シャワー、トイレなし
- (3) ご利用の際は「個室申込書」の提出をお願いします。

3.お支払いについて

- (1) 入院後は毎月月末に締め、翌月の10日頃請求書を作成し、1階中央受付にご準備しております。
受取後1週間以内に、1階中央受付にてお支払いをお願い致します。
請求書の郵送をご希望される方は、入院申込書・誓約書の「3.入院請求書のお渡し方法について」の欄にご記入をお願い致します。
- (2) 入院料金に、ご不明な点がある場合は、お支払いの前に病棟職員または1階中央受付にお尋ねください。
- (3) ご退院の場合は、当日ご退院までにお支払いをお願い致します。
- (4) 入院中、病院の機器備品等を破損・紛失された場合は実費を請求させていただきます。
- (5) 入院中、お薬等を汚染・紛失され再処方した場合、全額自己負担となります。
- (6) お支払いはクレジットカード(サイン不可)もご利用できます。
- (7) 入院料が高額になることが予想される場合は、「限度額適用認定証のご案内」をご覧ください。

退院について

- (1) 退院は原則午前中となります。退院日につきましては、必ず病棟師長にご相談ください。
- (2) 退院の際は、お支払いが済み次第、指示事項等をお聞きのうえ、お帰りください。
- (3) 原則平日の退院になります。土曜・日曜・祝日に退院をご希望される場合は、早めにお知らせください。
- (4) 検査・処置等の伝票漏れ及び、その他の事情により、やむを得ず退院後に、追加料金の請求をさせていただきますことがあります。
- (5) TVカードの精算は、中央受付で承ります。

その他サービスについて



診断書などのお申込みについて

お申込み方法

1. 身分証（運転免許証、マイナンバーカード（マイナ保険証）等）をご持参ください。
2. 文書窓口で、文書申し込みを行ってください。
受付時間：（月～金）8：30～17：00 （土）8：30～13：00
ご本人及びご家族以外の方のお申込みは委任状が必要です。また、委任を受けた方の身分証（運転免許証、マイナンバーカード（マイナ保険証）等）のご提示をお願い致します。
3. 提出先によって書式が指定されているものがありますので、所定の用紙をお取り寄せ頂きご持参ください。（当院様式、警察用診断書を除く）
4. 生命保険会社へ提出用の診断書は、退院日が決定してからのお預かりとなります。
退院後に医師が記載致しますので、退院日にお渡しすることはできません。
＊ 退院日より2週間の作成期間を頂いております
5. 郵送をご希望の場合は、文書料の他に郵送料140円を申し受けます。
＊ 封筒へ宛先のご記入をお願いしております。
郵送による紛失に関しましては、当院では責任を負いかねますので予めご了承ください。

受け渡しについて

1. 診断書等の作成に要する期間は2週間程度をご予定ください。
（※ 内容や記載医師の勤務状況によっては2週間以上かかる場合がございますのでご了承ください。）
2. 診断書等の作成にあたり診察が必要な場合は、ご来院いただくこともございますのでご了承ください。
3. 医師の判断によっては、診断書が記載できない場合がございます。
4. 窓口受取りをご希望の方は、診断書等が出来上がりましたら事務担当者よりご連絡を差し上げます。
5. お受け取りの際は、お申し込みの際にお渡し致します「文書申込書」患者様控えをご持参頂き、中央受付でお受け取り下さい。お忘れの場合は、身分証をご提示頂きます。
6. 申し込み後のキャンセル・返金は場合によっては出来かねますので、ご了承ください。
7. 紛失での再発行は有料となります。

訪問看護ステーションのご案内

- ・退院後にご自宅での療養生活にご不安のある方は、訪問看護をご利用ください。看護師やリハビリスタッフがご自宅にお伺いし、健康管理やリハビリのお手伝いをいたします。
- ・通院が困難な方は、医師が訪問して診察いたします。

お問合せ・お申込連絡先

TEL:092-632-3366



駐車料金ご案内 割引料金には、「面会」の押印が必要となります

お見舞い、荷物持参の方は下記の料金となります。

30分以内…無料 31分以降(30分毎に100円)

例:駐車時間が2時間の時、初めの30分は「無料」30分+30分+30分で300円です。

《病状説明で病院より呼び出した時及び手術日》無料

※1F 中央受付(時間外は1F 事務室)で駐車券に押印を受けてください。

《日極》1日 1,000円 / 1台

対象の方

※長時間の付き添いが必要な方が対象です。

※入院患者さまでやむを得ず車を置かれる場合。

※別途お申込みが必要です(病棟で受付致します)

※入院費に含めてご請求させていただきます。

面会・電話の取り次ぎのご案内

※面会には、予約が必要です。前日までに電話にてご予約をお願い致します。

(1) 面会時間 ※下記の時間以外の面会・電話の取り次ぎはご遠慮ください。

・平日 14:00~17:00

(2) 体調のすぐれない方やお子さま(乳幼児)連れの面会はご遠慮ください。

(3) 患者さまのお申し出により、ご案内できない場合がありますのでご了承ください。

(4) 病状・診療・看護の都合により面会をお断りすることがあります。

(5) 電話の取り次ぎは緊急時以外はご遠慮ください。

(6) 面会時は、病棟のスタッフステーションで受付をしてください。

〈ご家族の方へ〉

電話の取り次ぎの際には、患者さまのフルネームをお伝えください。

医療法人

貝塚病院

〒812-0053

福岡市東区箱崎7丁目7-27



TEL:092-632-3333

HP:<http://kaizuka-hosp.or.jp/>

交通アクセス

地下鉄箱崎線・西鉄貝塚線：貝塚駅より徒歩8分

西鉄バス：高須磨町バス停下車すぐ

当院では、当院の定める個人情報保護方針（プライバシーポリシー）にのっとり、皆さまの個人情報について、安全かつ適切な管理を行ってまいります。

基本理念



患者さまの権利と責任

